



開物成務

平成30年 10月 15日（月）発行

校長 津田 将美

つづきの おはなし・・・

学校だより8号でお伝えした「始業式のおはなし」のつづきです。

運動会という大きな行事を乗り越えた直後の10月2日だったため、1か月前のおはなしを忘れている子どもたちのために、前月のあらすじから入りました。

広島で被爆した近藤紘子さんが、被爆した少女や孤児の救済活動に取り組んだお父さんと共にアメリカのテレビ番組に出演した時、エノラゲイの副操縦士に出会いました。会ったらいつか仕返しをしてやろうと思っていた相手が涙をぽろぽろと流して謝る姿を見て、その人にも苦しみがあり、自分の中にも悪があることを知りました。（開物成務第8号参照）

「自分が正義であり、相手が悪と決めつけること。」このことが、戦争の原因であると近藤さんは言います。「いい話を聞いたな。このことは、開成小学校の子どもたちにぜひ伝えよう。」心に何か熱いものが残り、そう思って私は朝一で温泉に向かいました。

実はその日、青森の浅虫温泉に滞在していました。夏の思い出を始業式で話しており、その続きのこのテレビ番組の感想だったのです。浅虫温泉には、湯船から見える広々とした海を楽しみに行ったのですが、前日からの荒天で海はほとんどながめることができませんでした。

でも、そんなことも全く気にならない感動があったので、とてもいい気持ちで温泉に上がっていくエレベーターに乗りました。その時、温泉の入り口から杖をもった高齢の男性が入ってくるのが見えました。私一人だったこともあり、その男性がエレベーターに乗るまで、ボタンを押して待っていました。

「ありがとうございます。助かります。」

その男性に言われ、私は益々気持ち良くなりました。

海の見えない湯船にゆったりとつかっていても、心の中の心地よさは残っています。その時、先ほどの男性が杖をつかずにゆっくりと湯船に向かってるのが見えました。手すりが必要だと思ったのですが、そのすぐそばに若い男の人が座っています。私はその若い方に声をかけ、どいてもらいました。



一瞬ですが目が合ったその男性が、私をにらんだように感じました。

高齢の男性は、エレベーターの時と同じように、私とその若い方に深々とおじぎをし、丁寧にお礼をいって、ゆったりと湯船につかりました。

私はこの時にらまれたと感じ、それまでの心地よさが消え、怒りがわいてきました。

その怒りの中に居ながら、ふと先ほどの近藤さんの言葉を思い出しました。そして、気付きました。

近藤さんが言われていたことは、きっとこういうことなんだろうと…。

高齢の男性は、私にも若い方にも心からのお礼を言われました。若い方も、まぎれもなく

高齢の方のためにどいてくれました。にらまれたと感じたのは私の気のせいかもしれませんが、そんなこと気にすることでもないのです。ちょっとした相手の言動や、自分の意に沿わない出来事に怒りを覚えてしまう…。それも近藤さんの言葉にあんなに感動し、自分もそうありたいと思った直後にも、そんな怒りを感じてしまう…。自分の心の弱さに改めて気付かされた出来事でした。

低学年の子どもたちには、ちょっと難しい話かなと思いましたが、「みんなも、そんなふうになんてしたことでも怒ったりイライラしてしまったりすること、ありますか？」

と聞くと、

「うん、ある。」

と1年生の中からも反応があったことが、うれしかったです。



「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、

人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。」

開物成務第8号でもふれた6年生の国語の学習「平和のとりでを築く」で紹介しているユネスコ憲章です。児童の意見文で、自分なりの考えを一生懸命表現していますので、次号では、その紹介をしたいと思います。

運動会が終わって、開成小学校にも日常のゆったりとした生活がもどってきました。運動会で見せた「心をついに」する姿勢を学級や学年の中でも発揮し、毎日の活動がんばっています。2年生は、吉田島高校より高校生の講師をお招きし、冬野菜の栽培指導をしていただきました。3年生は、総合的な学習の時間に「クラスの紹介」を1, 2組合同で発表しました。4年生は社会科の学習で浄水場の見学を行い、開成町の上水道のことを学びました。1年も半ばを過ぎ、体験的な学習も更に充実させていきます。



吉田島高校による冬野菜栽培指導



3年生のクラス紹介



浄水場のおいしいお水にニコリ

CAPおとなワークショップ 10月4日

第3回家庭教育学級として、開催されました。5月14日行われた子どもワークショップを受けてのもので、子どもの人権意識の向上には、大人の関わりが欠かせないものであることを学びました。ロールプレイ（役割演技の演習）等保護者の方々にも積極的に参加していただき、意義のある研修となりました。

「子どもの力を信じること」

「子どもの言葉を共感的に聞くこと」

の大切さを学びました。

参加の方々、成人教育委員会の皆様、本当にありがとうございました。



6年生をはげます会 10月11日

10月16日（火）に行われる連合体育大会に向けて、5年生の実行委員を中心に行われました。響く声、背のぴんと伸びた姿勢、堂々とした態度で6年生を励ましました。

ステージのひな壇に座った6年生はその態度で、ここでも全校の見本となってくれました。それを応援する下学年の子どもたちも、6年生へのあこがれを胸に一生懸命応援する心を伝えることができたと思います。

6年生69名、本番も開成小学校の代表として精一杯がんばります。

